

環境に関する福岡県民意識調査結果 (県政モニター制度)

福岡県環境部環境政策課

1. 県政モニター制度の概要

(1) 県政モニター制度とは

県政に対する県民の意見・要望等を組織的かつ継続的に把握し、県政に活かすことを目的として、県内にお住まいの18歳以上の方から、県政に関心をお持ちの方400名を公募により選定したもの。県政モニターとして選定された方には、年に数回実施される「モニターアンケート」への回答や、県の施策や事業に関して自由に意見等を提出する「モニター提案」を通じて、活動を行ってもらう。

(2) 県政モニターの選定について

県内各地区から幅広く御意見等をいただくため、国勢調査結果による県内の人口構成を基礎に、特定の性別、年代、地域に偏らないよう、モニターを選定。

(3) 福岡県の環境についての調査目的

「福岡県環境総合ビジョン」では、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定。これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターを実施。

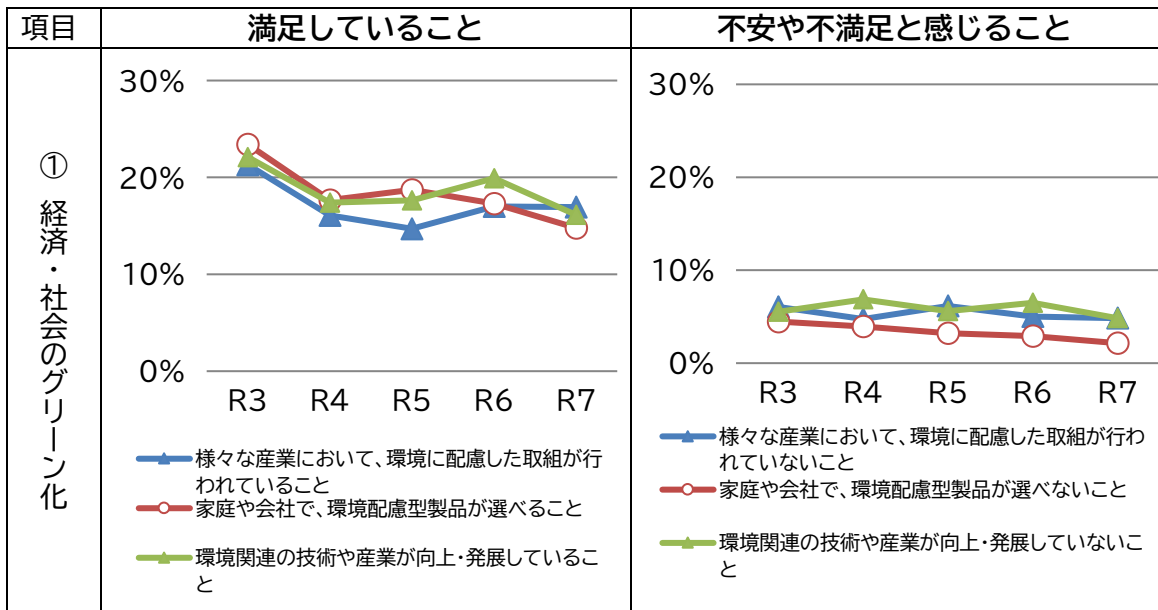
(4) 居住地域

居住地域は、下記のとおり4地域に区分

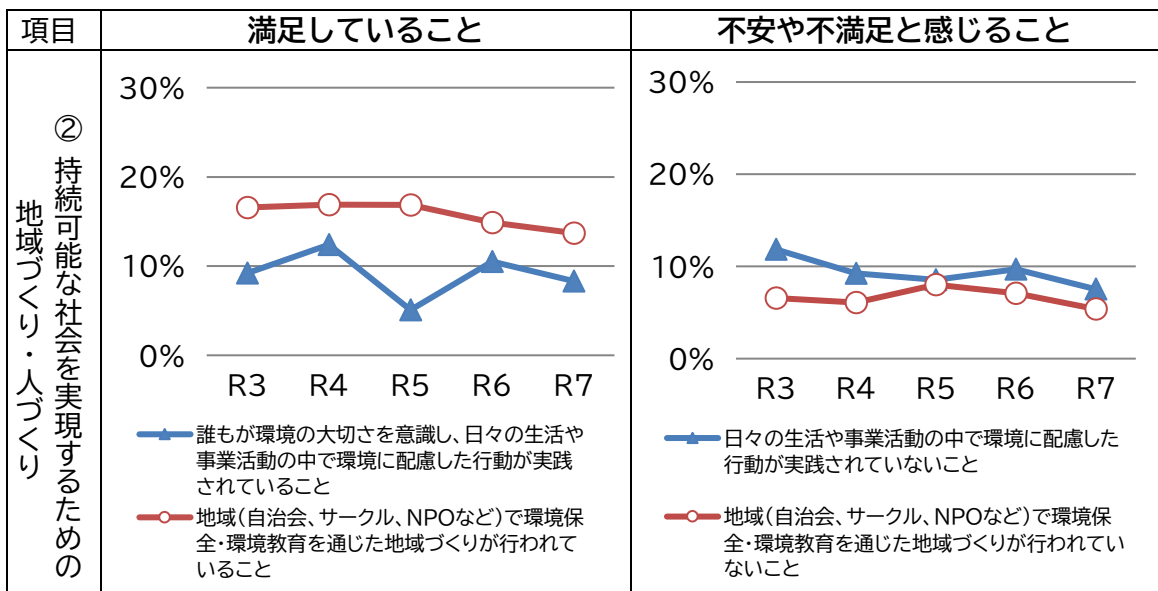
地域	市町村
北九州地域	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
福岡地域	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、朝倉市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、筑前町、東峰村
筑後地域	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市、大刀洗町、大木町、広川町
筑豊地域	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町

2. 環境への満足度・不満足度に係る回答の経年変化（過去5年）

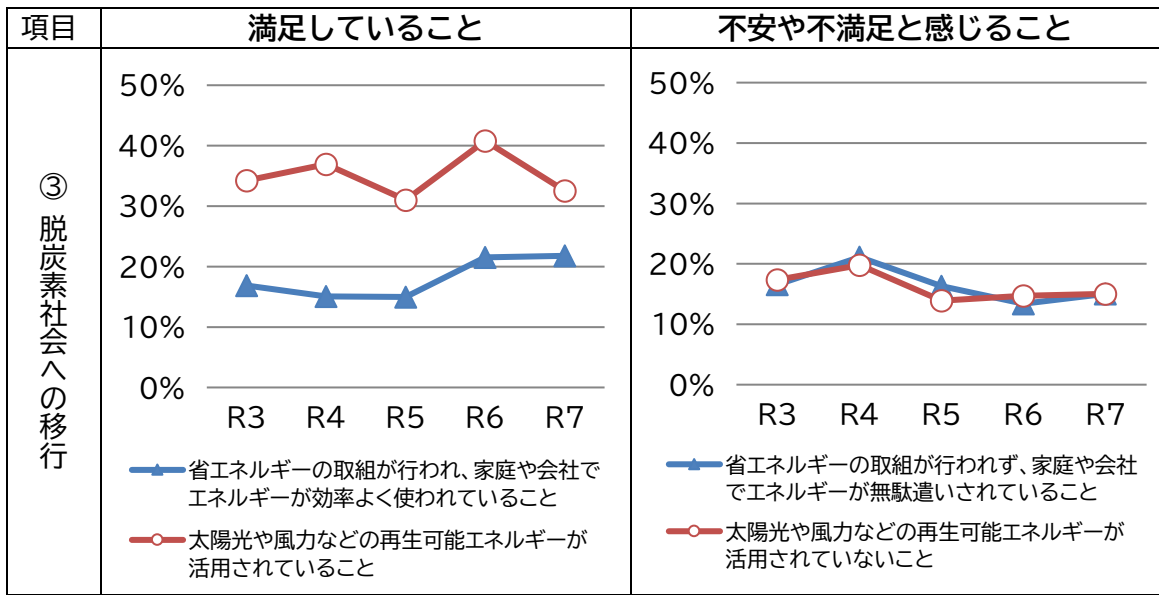
※調査対象者は毎年度変わっています。



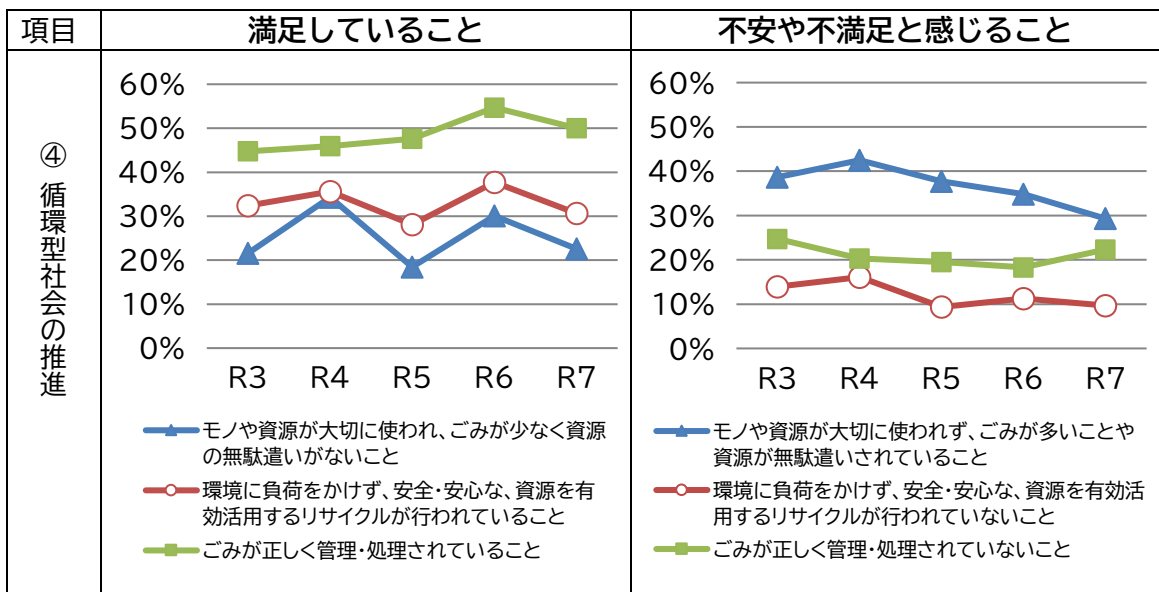
- ・ 「様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること」「環境関連の技術や産業が向上・発展していること」に対する満足度は、横ばいで推移しています。
- ・ 「家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること」に対する満足度が、減少傾向にありますが、一方で不満や不満足と感ずる割合も減少しています。



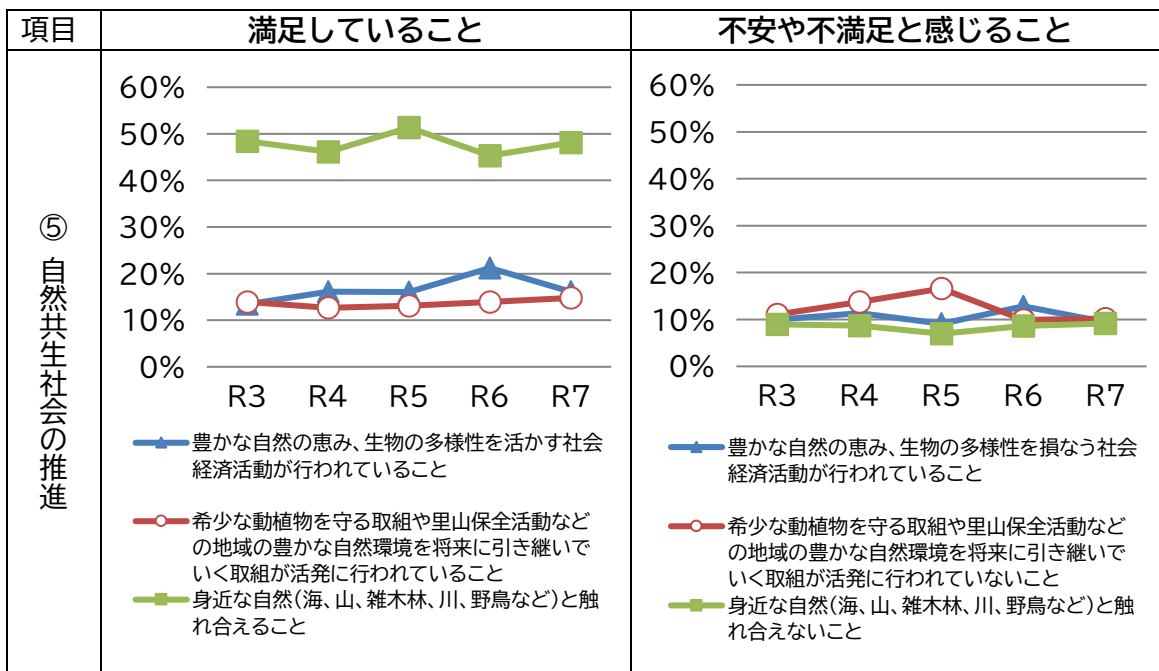
- ・ 「誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること」に対する満足度は、令和5年度が低いです、過去5年間を通じて概ね横ばいで推移しています。
- ・ 「地域（自治会、サークル、NPO など）で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること」に対する満足度は、横ばいで推移しています。



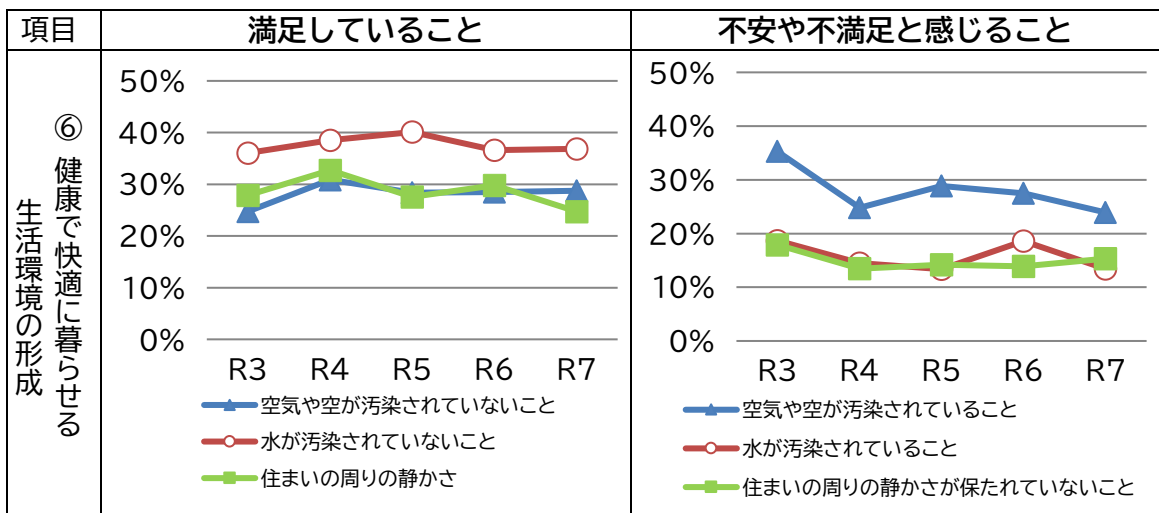
- ・ 「省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること」に対する満足度は、令和6年度、7年度は上昇しています。
- ・ 「太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること」に対する満足度は、横ばいで推移しています。



- ・ 「ごみが正しく管理・処理されていること」に対する満足度は、比較的高く推移し、「モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと」「環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること」に対する満足度は、横ばいで推移しています。
- ・ 「モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」「環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと」に不安や不満足と感ずる割合は、減少傾向にあります。



- ・ 「身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えること」に対する満足度は、比較的高く推移し、「豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること」「希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること」に対する満足度は、横ばいで推移しています。



- ・ 「空気や空気が汚染されていないこと」に対する満足度は横ばいで推移していますが、一方で不満や不満足と感ずる割合は減少しています。
- ・ 「水が汚染されていないこと」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、それぞれ横ばいで推移しています。

3. 参考

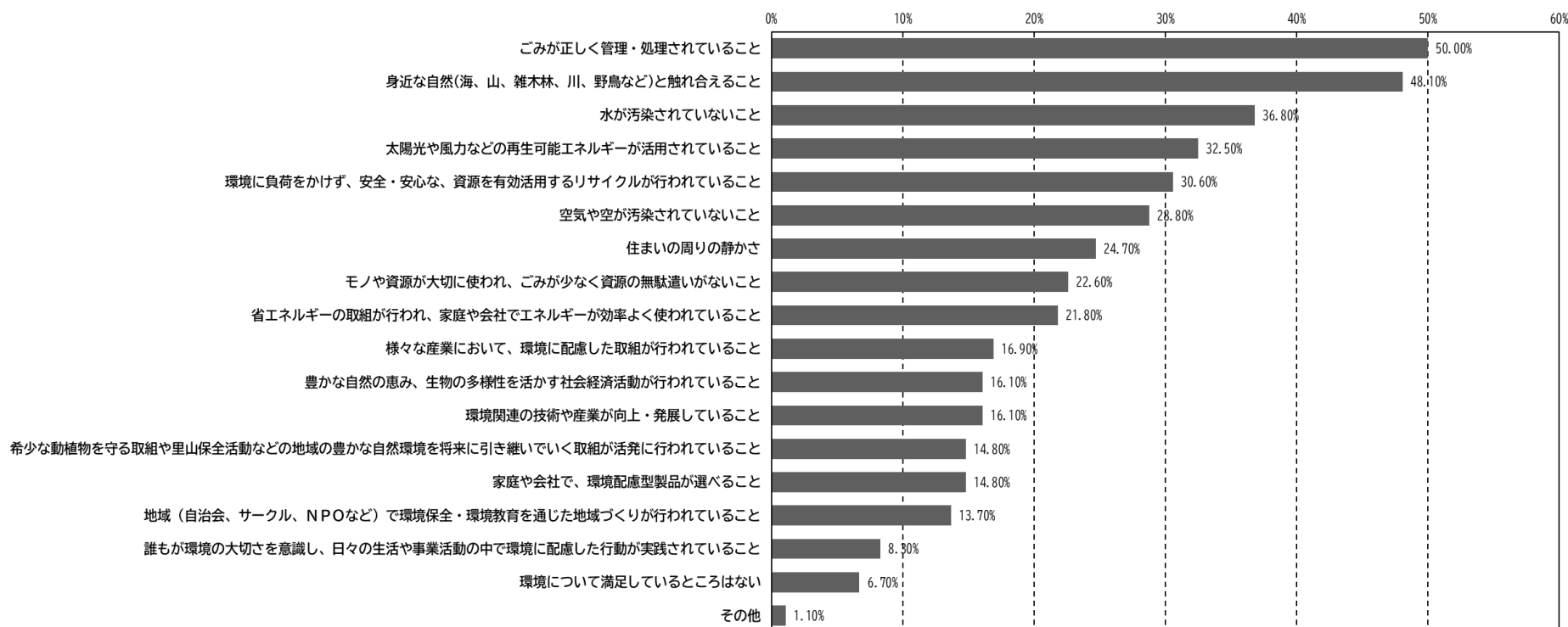
令和7年度の調査結果は次の通り。

(1) 身の回りの環境について満足していること

<問> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

身の回りの環境について満足していること

(n=372 複数回答可 回答件数=1,505)



普段生活している身の回りの環境について、現在、満足していることについて尋ねたところ、全体では、「ごみが正しく管理・処理されていること」(50.0%)及び「身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること」(48.1%)の割合が高く、約半数の人が選択していました。

続いて、「水が汚染されていないこと」(36.8%)、「太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること」(32.5%)、「環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること」(30.6%)の割合が高く、いずれも3割以上の人が選択していました。

表 身の回りの環境について満足していること（全体、性別、年代別、地域別）

	回答人数合計（名）	省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	少くなく資源が大切に使用され、ごみが	モリや資源が無駄遣いが無いこと	環境に負荷をかけず、安全・安心な資源を有効活用するリサイクルが行われていること	ごみが正しく管理・処理されていること	身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えること	豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	空気や空気が汚染されていないこと	水が汚染されていないこと	住まいの周りの静かさ	様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	環境関連の技術や産業が向上・発展していること	家庭や会社で、環境配慮型製品が選ばれること	地域（自治会、サークル、NPOなど）で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	環境について満足しているところは	その他
全体	372	21.8%	32.5%	22.6%	30.6%	50.0%	48.1%	16.1%	14.8%	28.8%	36.8%	24.7%	16.9%	16.1%	14.8%	13.7%	8.3%	6.7%	1.1%	
性別	男性	172	23.8%	32.0%	23.3%	31.4%	51.2%	48.8%	13.4%	15.1%	30.8%	42.4%	26.7%	16.3%	19.8%	14.5%	11.6%	8.1%	6.4%	0.6%
	女性	197	20.3%	32.5%	22.3%	29.9%	49.2%	47.7%	18.3%	14.7%	26.9%	31.5%	22.8%	17.3%	13.2%	14.7%	15.7%	8.6%	6.6%	1.5%
	その他	3	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
年代別	20代以下	58	10.3%	25.9%	22.4%	27.6%	44.8%	43.1%	12.1%	13.8%	31.0%	36.2%	13.8%	12.1%	17.2%	8.6%	10.3%	5.2%	0.0%	0.0%
	30代	63	23.8%	28.6%	14.3%	25.4%	46.0%	55.6%	17.5%	17.5%	22.2%	34.9%	33.3%	17.5%	17.5%	11.1%	6.3%	7.9%	6.3%	1.6%
	40代	76	14.5%	30.3%	14.5%	26.3%	43.4%	53.9%	14.5%	17.1%	22.4%	34.2%	25.0%	18.4%	15.8%	19.7%	14.5%	7.9%	7.9%	2.6%
	50代	63	22.2%	31.7%	25.4%	30.2%	38.1%	47.6%	20.6%	14.3%	30.2%	34.9%	15.9%	12.7%	14.3%	19.0%	12.7%	3.2%	9.5%	1.6%
	60代	74	31.1%	40.5%	29.7%	33.8%	59.5%	41.9%	14.9%	12.2%	39.2%	37.8%	35.1%	18.9%	14.9%	12.2%	20.3%	14.9%	8.1%	0.0%
	70代以上	38	31.6%	39.5%	34.2%	47.4%	78.9%	44.7%	18.4%	13.2%	26.3%	47.4%	21.1%	23.7%	18.4%	18.4%	18.4%	10.5%	7.9%	0.0%
地域別	北九州地域	91	23.1%	48.4%	28.6%	38.5%	52.7%	54.9%	22.0%	23.1%	26.4%	40.7%	26.4%	27.5%	25.3%	22.0%	11.0%	8.8%	6.6%	2.2%
	福岡地域	193	22.3%	26.9%	21.2%	25.9%	51.8%	45.6%	14.5%	12.4%	28.5%	35.8%	24.9%	16.1%	15.5%	14.5%	15.5%	8.3%	6.7%	1.0%
	筑後地域	58	22.4%	24.1%	20.7%	37.9%	50.0%	48.3%	12.1%	10.3%	32.8%	32.8%	17.2%	6.9%	6.9%	5.2%	10.3%	8.6%	6.9%	0.0%
	筑豊地域	30	13.3%	36.7%	16.7%	23.3%	30.0%	43.3%	16.7%	13.3%	30.0%	40.0%	33.3%	10.0%	10.0%	13.3%	16.7%	6.7%	6.7%	0.0%

身の回りの環境で、現在、満足していることについて、性別にみると、男性、女性とも「ごみが正しく管理・処理されていること」が、割合が最も高くなっています。その他の方では、「太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること」、「水が汚染されていないこと」の割合が66.7%と高くなっています。

年代別にみると、20代以下、60代、70代以上は、「ごみが正しく管理・処理されていること」の割合が最も高かったのに対し、30代、40代、50代は「身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えること」が最も高くなっていました。

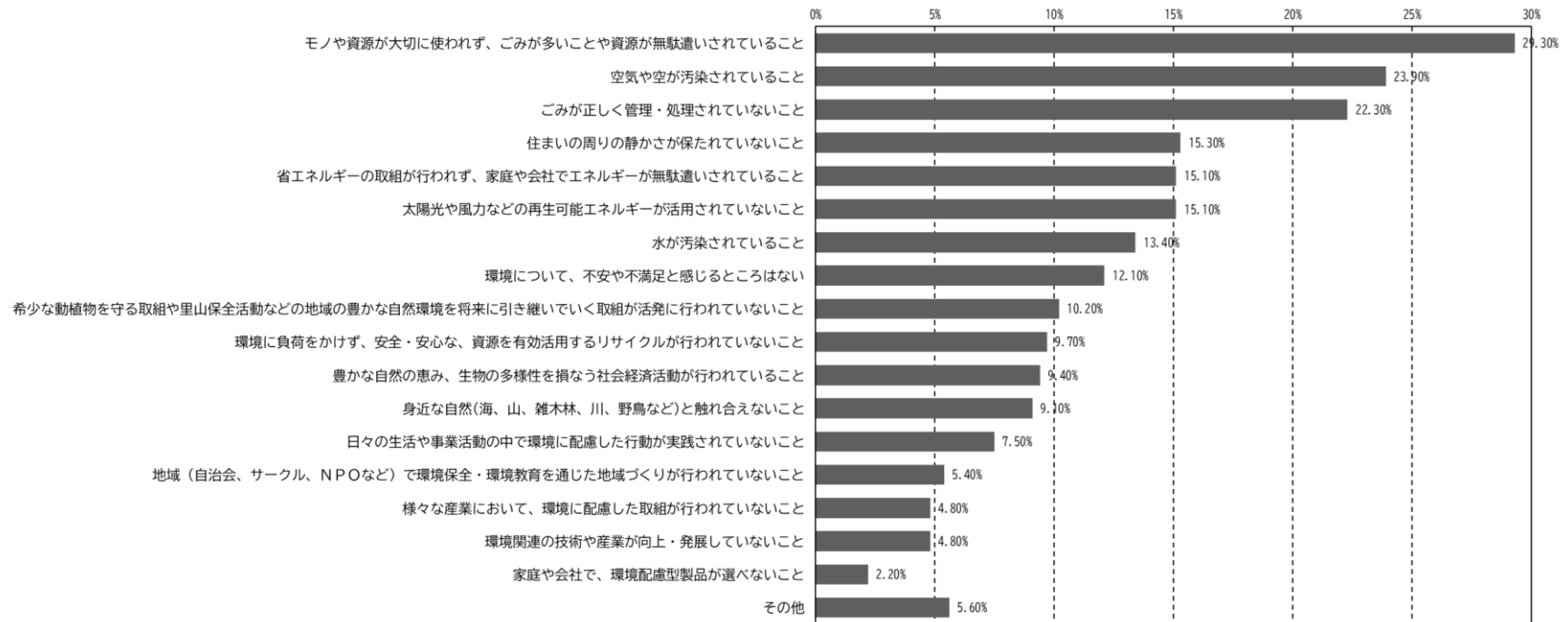
地域別にみると、北九州地域・筑豊地域では「身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えること」、福岡地域及び筑後地域では「ごみが正しく管理・処理されていること」が最も高くなっています。

(2) 身の回りの環境について、不安や不満と感ずること

<問> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感ずるのはどのようなところですか。

身の回りの環境について、不安や不満と感ずること

(n=379 選択は4つまで 回答件数=1,035)



普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感ずることについて尋ねたところ、全体では、「モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」(29.3%)の割合が最も高く、次いで、「空気や空が汚染されていること」(23.9%)、「ごみが正しく管理・処理されていないこと」(22.3%)の順となっています。

表 身の回りの環境について不安や不満足と感ずること（全体、性別、年代別、地域別）

	回答人数合計（名）	省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	モノや資源が大切に使用されず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	環境に負荷をかけず、安全・安心が行われていること	ごみが正しく管理・処理されていないこと	身近な自然（海、山、雑木林、川、野鳥など）と触れ合えないこと	豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	希少な動植物を守る取組や里山保全活動などが行われていないこと	空気や空気が汚染されていること	水が汚染されていること	住まいの周りの静かさが保たれていないこと	様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	家庭や会社で、環境配慮型製品が選ばれないこと	地域（自治会、サークル、NPOなど）で環境保全・環境教育を通じて地域づくりが行われていないこと	日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	環境について、不安や不満足と感ずるところはない	その他
全体	372	15.1%	15.1%	29.3%	9.7%	22.3%	9.1%	9.4%	10.2%	23.9%	13.4%	15.3%	4.8%	4.8%	2.2%	5.4%	7.5%	12.1%	5.6%	
性別	男性	172	18.0%	20.3%	26.2%	8.7%	23.3%	7.6%	9.3%	19.8%	11.0%	15.7%	5.2%	5.8%	2.9%	5.8%	7.0%	11.0%	5.2%	
	女性	197	12.7%	10.7%	32.0%	10.7%	21.8%	10.7%	9.6%	10.7%	27.4%	15.2%	14.7%	4.1%	3.6%	1.5%	5.1%	8.1%	13.2%	6.1%
	その他	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年代別	20代以下	58	15.5%	10.3%	25.9%	10.3%	15.5%	15.5%	17.2%	8.6%	15.5%	8.6%	24.1%	5.2%	1.7%	3.4%	5.2%	8.6%	6.9%	3.4%
	30代	63	14.3%	9.5%	34.9%	3.2%	15.9%	9.5%	11.1%	9.5%	28.6%	14.3%	15.9%	6.3%	7.9%	1.6%	7.9%	7.9%	11.1%	4.8%
	40代	76	11.8%	15.8%	15.8%	10.5%	25.0%	7.9%	5.3%	6.6%	31.6%	17.1%	11.8%	2.6%	5.3%	2.6%	5.3%	3.9%	17.1%	7.9%
	50代	63	11.1%	19.0%	31.7%	7.9%	25.4%	6.3%	1.6%	6.3%	25.4%	17.5%	12.7%	6.3%	3.2%	1.6%	3.2%	7.9%	9.5%	12.7%
	60代	74	17.6%	12.2%	37.8%	14.9%	27.0%	8.1%	12.2%	12.2%	20.3%	10.8%	13.5%	2.7%	2.7%	1.4%	2.7%	8.1%	14.9%	2.7%
	70代以上	38	23.7%	28.9%	31.6%	10.5%	23.7%	7.9%	10.5%	23.7%	18.4%	10.5%	15.8%	7.9%	10.5%	2.6%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%
地域別	北九州地域	91	16.5%	11.0%	33.0%	7.7%	28.6%	8.8%	7.7%	23.1%	18.7%	11.0%	12.1%	3.3%	5.5%	1.1%	6.6%	9.9%	13.2%	5.5%
	福岡地域	193	13.5%	18.1%	30.6%	9.3%	18.1%	10.9%	10.4%	10.9%	25.9%	14.5%	17.6%	5.2%	3.6%	1.6%	4.7%	8.3%	10.9%	5.2%
	筑後地域	58	22.4%	10.3%	22.4%	15.5%	19.0%	3.4%	12.1%	5.2%	24.1%	15.5%	12.1%	3.4%	6.9%	3.4%	6.9%	3.4%	13.8%	5.2%
	筑豊地域	30	6.7%	16.7%	23.3%	6.7%	36.7%	10.0%	3.3%	10.0%	26.7%	10.0%	16.7%	10.0%	6.7%	6.7%	3.3%	3.3%	13.3%	10.0%

身の回りの環境で、不安や不満足と感ずることについて、性別関係なく、「モノや資源が大切に使用されず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」の割合が、最も高くなっています。その他の方は、「空気や空気が汚染されていること」「水が汚染されていること」「住まいの周りの静かさが保たれていないこと」「様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと」も同率となっています。

年代別にみると 40 代を除く全世代で、「モノや資源が大切に使用されず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」の割合が高く、40 代では「空気や空気が汚染されていること」が最も高くなっています。

地域別にみると、北九州地域・福岡地域では「モノや資源が大切に使用されず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること」の割合が最も高かったのに対し、筑後地域では「空気や空気が汚染されていること」の割合が最も高く、筑豊地域では、「ごみが正しく管理・処理されていないこと」の割合が最も高くなっています。

(3) 調査の詳細について

調査の詳細については、ホームページに掲載しています。

福岡県ホームページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/279576.pdf>

二次元コード

